



子育てチャンネル

国際人であること

私たち親は、子供たちの教育について悩むものです。最初の何年かは、家庭で最も大切なことは家族の雰囲気づくりで、ほとんどすべての責任を親が担っています。子どもたちが学校に行く日、それは母親、父親であればだれもが記憶しているエキサイティングな日で、子どもたちがそれぞれ幸せに、そして善良な市民として成長していくことを社会が期待しているように、私たち親もそう思っています。

私の経験上、この社会は小さな世界の中で他の社会や文化とますますつながっています。私は、日本人である私の子どもたちが日本の言葉や文化を学ぶことがいつの日か彼らの宝物になることを信じ、子供たちのために一緒に東川に転居することを決めたスペイン人の父親です。

今日のグローバル化世界では、外国語への関心は高まっています。日本はすでに世界中で活発に活動しており、だからこそ小学校や日本企業で英語教育を導入しています。企業はこれから働いてくれる従業員に英語、中国語、スペイン

語の知識がある人を要求しているのです。

例えば外国人と英語で話せるということは、近い将来子どもたちに多くの可能性の扉を開くことになるでしょう。実用上有利であるというだけでなく、ほかにも利点があります。

新しい発音、新しい文法の法則を学ぶということは、単に言葉を学ぶだけではなく、もっと深い意味があります。世界を知るために新しい概念を理解し、習慣や感情も受け入れる必要があるということなのです。そのため最初の関門を通らなければなりません。

当面は自分が何者なのか、ということをおぼろげに忘れること。でも自分のアイデンティティーを見失うなどと心配する必要はありません。新しい文化の鏡で自分を見るのが出来るようになること、自分自身をもっとよく理解することが出来るようになるからです。

言葉を習う時のことについて、文法に例えてみると、母国語では無意識にそれを当てはめて話している、ということを考えて

みてください。それが母国語というものです。言葉を学ぶことは自分のアイデンティティーを何も失わないどころか、自分をもっと豊かにしてくれるのです。

言葉はコミュニケーションの手段

何歳であつても遅すぎることはありません。若々しく活動的な心を保つためにお奨めです。

若い人ばかりでなく、何歳であつても若くいられるかもしれません。私の生徒の一人に7歳の方がいるのですが、とても学習が早く、とても若々しいのです。好奇心と遊び心がいっぱいあつて、間違いを恐れず、より柔軟な子どもたちにとっては、もっと素晴らしいチャンスです。

東川に来た時、私の最初の話し相手は子供でした。学校で遊びながら習った英語を試したいと思つて、恐怖心などなく好奇心から路上で私にあいさつしてきたのです。

「こんにちは!」「アメリカ人なの?」「バルセロナからの?」「メッシは僕の大好きなプレーヤーだよ!」...

これこそが言葉を学ぶ最良の姿勢です。お母さん、お父さん、

この瞬間を逃さないで! 外国語を学ぶには、それぞれに理由があるし、学ぼうとする姿勢に加えて大変な努力も必要だからこそ、良い動機が欠かせないのです。

外国語を学ぶ理由の中には、筆記試験に合格するためのだけの勉強というものもあります。これは分かりやすいゴールです。確かに、幸運にもテストに合格することはあるでしょう。

そして伝達することに適しているという理由もあります。言葉を勉強するのは、まさに伝達するためののです。

交通ルールを知らないで車を運転することは心臓によくありません。あなたの車を安全に運転して目的地に着くようにするためのものなのです。

国際人になるためにコミュニケーションをしましょう。お父さん、お母さん、外国語を学ぶことはお二人がお子さんにあげる事が出来る最も価値のある贈り物の一つです。

英語スクール講師

カルロス・ペット